

あわつえんぶじょう
栗津演舞場

種 別 国登録有形文化財 建造物
登録年月日 平成28年11月29日
所在地 栗津町

栗津温泉街に位置する劇場建築。

昭和8年に開催された全国旅館組合総会の会場として建設された。施主は栗津温泉振興会、設計は小松出身の建築技師・安井禎夫である。

昭和期に演舞場として使われた期間は昭和18年までのわずか10年間。戦時中は軍需工場に転用され、その後は旅館、従業員宿舎、倉庫として使用された。

平成19年より有志たちによる調査・復元工事が実施され、平成26年4月に「こけら落とし公演」を開催。現在は、温泉街の活性化を図るべく、再び演舞場として活用されている。

木造2階建てで、芝居小屋としては小規模なものである。正面に向かって左側のみに下屋庇がつくといった中規模以下の芝居小屋に見られる特徴をもつ。

外観は、入母屋の大屋根の左右に切妻屋根の張り出しが対称的につき、正面玄関にはむくり破風の庇をもつ。軍需工場への転用などで内装は大きく改造されたが、芝居小屋を特徴付ける外観は良好に残されている。

栗津温泉街の往時の賑わいを今に伝える劇場建築であり、年代は比較的新しいながらも、伝統的な芝居小屋のたたずまいをよく残した建物である。



栗津演舞場 外観正面



栗津演舞場 内観